

令和3年度

石川町議会と商工会青年部・女性部との意見交換会記録

日 時 令和3年7月28日（水）午後7時から午後8時45分まで

場 所 石川町商工会 2階会議室

出席者 商工会青年部 矢内千春部長 溝井陽介副部長 山田真太郎副部長
商工会女性部 佐藤トヨ子部長 酒井圭子副部長 遠藤初子副部長
石川町議会 根本重泰 瀬谷寿一 下山田和雄 関根信次 草野伝明
商工会 根本事務局長ほか2名
議 会 添田事務局長

次 第 1 開会 （挨拶）根本 2 自己紹介 3 議会報告 瀬谷
4 意見交換 5 閉会 根本

○議員 定刻ちょうどですね。ということで、本日は石川町議会の意見交換会、これ今年初めての試みです。少人数でそれぞれの分野の方にお話をいただきながら、やはり石川町の今の実情とか、そういうところを、我々議員も把握してそれを施策提言とか一般質問の中で生かしていきたいという思いです。石川町議員、14名おりますが、3班に分かれまして今日この同じ時間帯に、それぞれこのような会を催しております。

隣のモトガッコではまず保育所と児童館の役員の方々、やはりそちらもここでは6名で議員が5名ですけれども、同じような人数配分で少ない中でいろんなお話を聴きたいという試みです。

もう1か所が、役場庁舎で認定農業者会の役員さん、これも6名の方が多分集まっているいただいていると思うんですけれども、それぞれの分野で生の声を聴きながら我々も議員も認識して活動したいということの表れですので、御理解いただきたいと思います。本当に今日はありがとうございました。

で、自己紹介になってしまうんですけれども、私この班の、議員5人いるんですけれども、班の班長を務めております根本と申します。ですので、これから終了まで司会の進行も含めながら、この会を進行役ということで務めさせていただきます。

まず、皆さん、この石川町を見て、今の石川町です、これを見てどう思われるか。まずは少子高齢化とか、次に水害がありましたよね、それぞれ解体されて、石川町の町内が本当に駐車場にするしかないのか、寂しいような思いになると思います。町内で今日御参加の中にも御商売をなさっている方もいらっしゃると思います。そのような課題とか、またコロナでやはり行動制限もあります、本当にワクチン接種2回したから、来年から安心していただけるような世の中になるのか。そんなことも皆さん不安を持っていらっしゃると思います。そんなもろもろのことを含めながら、私たち議員も自分たちの次の世代がこの石川町に住み続けてほしいという思いで議員活動しております。皆さんも地元で御商売をなさっていれば、その思いは一緒だと思います。ですので、この機会に疑問に思っていること、フリートークの形で制限も何もございませんので、自由にお話をしていただければと思います。そして、お声を持ち帰って我々議員活動の中で、一般質問なり施策の提言ということで生かしていきたいと思っておりますので、どうかよろしく願いいたします。

それでは、皆さんのお手元に次第があると思うんですけども、2番のところ、自己紹介ということで、まずは青年部の部長さんからですね。お願いいたします。

- 初めまして。青年部部長の矢内千春です。今日はよろしく願いいたします。
- こんばんは。青年部副部長の山田真太郎です。よろしく願いいたします。
- こんばんは。青年部同じく副部長をしています溝井陽介です。よろしく願いいたします。
- 議員 女性の方、よろしく願いいたします。
- こんばんは。部長の佐藤トヨ子と申します。よろしく願いいたします。
- 当町のオオモリの遠藤ハツコです。よろしく願いいたします。
- サカイ時計店です。よろしく願いいたします。
- 議員 それでは、議員のほうで先ほど自己紹介してしまったんですけども、根本と申します。どうかよろしく願いいたします。
- 議員 記録担当の関根と申します。よろしく願いいたします。皆さん、御苦労さまです。
- 議員 おばんでございます。今日は分担としては報告を若干させていただきますので、よろしく願いしたいと思います。瀬谷と申します。よろしく願いいたします。
- 議員 おばんでございます。下山田和雄です。これからいろいろお世話になります。よろしく願いいたします。
- 議員 こんばんは。草野と申します。よろしく願いいたします。
- 議員 それでは、全ての方々のお名前が分かったところで、一応皆様のお手元にあります資料

を見ながら、まずは議会のこんなことをやっていますよということで、皆さんに知っていただきたいというアピールポイントがございますので、資料の形になっていますから後で読んでいただくことも含めて、まず瀬谷議員から報告という形でさせていただきたいと思います。よろしくをお願いします。

○議員 〔議員より詳細に説明〕

○議員 今、議会の概要の話と、意見交換の資料の話で、商工関係のことを一般質問、こんなものが出ていましたよという資料は渡したんですけれども、この資料はおうちに帰ってから見ていただくということで、今回はこういうことは抜きにしながら、皆さんの仕事上での皆さんの目で石川町を見たときに、こんなことが疑問なんだということを、本来なら机を取っ払って車座で膝突き合わせてお話をしたいところなんですけれども、コロナの状況ですからそうもいきませんので、このような形にさせていただきました。ですので、まずは皆さん、どうなのというところでお話をいただければありがたいなと思います。議員もこれだけしかおりませんので、人数もこれだけですから、ぜひお話をいただければと思います。

資料から目を離していただくために、佐藤さん、どうでしょう、石川町見ていて、仕事も含めながら、私こんなこと聞いてみたいんだなんていうことがありましたら、口火を切っていたらと思っただけなんですけれども。

○ 女性部としては、議員さんを交えてこういうすばらしい会を設けていただくということで、部員さんにお尋ねしました。部員さんから議員さんにお尋ねしたいということがあったので、最初に伝えておきます。

いつも御苦労さまです。雨が降る際に北須川の水量を見ると水害のときを思い出します。あれ以来、川を越すことはしない様子ですが、大丈夫なのでしょうか。あと、今出川も遊歩道を造ることとのことですが、川を少し掘ってから周りの整備をしていただけると助かります。

ここに足していいですか。私事なんですけれども、私、古殿なんです、もともと。それで、石川に商売やって16年になりました。やっと、商売も石川町のおかげで商売やらせていただけるようになったので、桜のボランティアということで、観光のほうから要請あったので、今はコロナでやっていないんですけれども、観光、他県から来たお客様、桜がきれいだった、だけれども今の方の意見のように川が汚い。もうちょっとピンクの下に黄色とかあってもいいんじゃないかというお話もありました。そして、石川町はすばらしいのに、もっと強くPRしてほしい。他県から来た方はそのように強調されていました。

私自身も先輩方についてマイクは持てなかったんですけれども、いろいろ御案内できなかつ

たんですけれども、やはり後継者育成をしてほしい。私みたいな人がやはりボランティアをしたいと思ったときに、指導してほしい。石川の町をPRするんだという人がもっといると思うんです。だから、そういう方がいたらボランティアをどんどん養成して、育成していただければいいなとそのときに思いました。以上です。

○議員 ありがとうございます。

やっぱり水害の後、堆砂とかもうちょっときれいにならないのかとか、いろいろありますよね。今度今出川改修とか桜、公園なんかも幾らか変わるような形になったり、あとはPRが足りないんじゃないかと。もう一つが桜ボランティア、本当にウインドブレーカーを来て白で目立つ、あれがあるだけで随分違いますよね。でも、ボランティアの育成っていうことにもうちよっと力を入れてほしいんだなという話の内容でしたよね。

じゃあ、桜でこの議員さんの中で一番話ししているのは瀬谷議員さんですか。

○議員 桜のほうから。

○議員 桜。桜始まってから川の堆砂と水害の話してもらえれば。

○議員 私は実は、役場職員でもあってそういう部署にいた時代もあって、桜には関わってはきたんですけれども、なかなか今ずっと同じなのはPRが、先ほどあったようにちょっと下手だなというのは随分言われているんですけれども、そここのところの改善というのがなかなか進まないなどは感じています。一時、観光バスで受入れなんかをしたり、野本さんのほうでやってくれたりして、随分変わってきたなと思うんですけれども、なかなかこちらで受け入れる側のボランティアの問題もあるし、桜の見せ方みたいなのもいま一つなのかなと、私も自分で担当してきてもこう思うところはありますね。

だから、それとやはり町民の中でもう一つ私感じたのは、何で桜だけなのっていう話も結構あるんですよ。たった1週間のやつに、こんなにエネルギー費やしていいのっていう話もあって、もっと1年間見られるように仕掛けしたらいいんじゃないのって言われるんですけれども、私は思っていたのは、桜もできないでほかのやつに1年間やるっていうのは、どうなんだろうな、できないんじゃないのかなっていうのもあって、まず桜をやっぱり何とかしなきゃならないんだろうなっていう気持ちは、だから同じなんですよ。

それで、少しずつ桜を桜の会とかそういうのをつくって、今までこちらで北須川と今出川の方だけだったんですけれども、向こうの立ヶ岡のほうも向こうの人たちが一生懸命になって始まって、随分向こうもよくなってきていると思うんですね。だから、そういうの、やはりもっともっと外にアピールするっていうのは、私大事だなって思うんです。その面は町の商工会

の皆さんのほうが、意見を多く感じているのかなと思いますので、その辺のアイデアなんかも出してもらったらいいのかななんて思いますね。

○議員 じゃあ、そこで1回話、切りましょうか。

どうですか、今の返答で。もうちょっと桜のPRとかボランティアの育成で、こんなアイデアを出して、こんなことやってみたらどうかなんていうお話があれば、もう一歩前へ進めるかなと思うんですけども。酒井さん。

○ 棚倉町のお客さんがおっしゃっていたんですけども、これだけ立派な桜があるんだから、川を利用して船を出したらいいんじゃないか。何か所かせき止めれば増水するので、絶対可能だと思うって言うんですよね。全然、町に住んでいてそういう発想はなかったんですけども、下から桜を見上げる光景っていうのもまた違うし、結構中学校から長さはあると思うんですね。事前に、例えばちょっとしたお飲み物とお菓子つきでクーポンっていうか、何ていうかチケットを予約するとか、そういうのできるんじゃないのって、棚倉町のお客さんがおっしゃっていたんですね。そうすると、そういう発想も面白いなと思ったんですけども。

○議員 本当、そうですね。私ドローンで川沿いをずっと2メートルぐらいの高さで映したこのところの見たことあるんですよ。ああ、これいいなと思ったのと、モトガッコを造る前にこの周辺をいろんな遊びに使えないかということでカヌーをやっている方が来て、ここでカヌーを浮かべたいんだって。それから一歩進んだのが今のお話で屋形船ができないかって、そんなお話も出ましたよね。話だけでおしまいにするわけにもいかないの、何か一つでも取っかかりができればなと思いますね。いいですね。

○議員 船を浮かべるとするのは水量が必要なんです、一定程度。（「そうですね」の声あり）だから、河川改修を多分もう少し上手にやって、真ん中に水を集めて、そこを船が通れるくらい、そういう手当ても必要だと思います。カヌーもやったんですけども、底がつかえちゃうところが何か所かある。ですから、それをやろうとすれば、そういう工夫が必要だと思います。でも、下から眺められればやっぱりいいと思いますね。

○議員 そうですね、水防団ある町なんかは船出していますよね。川面から見ると景色全然違いますからね。本当にいいお話だと思います。じゃあ、水害と堆砂の川のことですね。その話と周りの。その話は下山田さん。水害の予防と川の堆砂。質問でもしていたような気がしたので。

○議員 これは、石川町独自の判断でできることでないので、県との連携を取って県との関わりが大きいので、その辺がまとまれば。今、船を浮かせる案は大変いいんですが、今出川に北須

川にコイがいる。そのコイもやっぱり川に泳いでいるっていうことは各市町村では堀ですからね、そういったことで大変桜とコイで船が寄ってすばらしいという方々もおいでになる。そういうのも含めて、これから桜関係売り出すということは、県が堤防には植えることは許可しませんからね。まして黙って植えているぐらいですから、県ともある程度連絡を取りながら桜を大事にすませることが一番でしょう。だから平成20年 ましたけれども、 は。そういったことも含めて桜も含めて。河川の大分底が砂がたまって、今出川、北須川、石川の水害なくす上で、堰のないほうが基本いい。堰があるとどうしても堆積物がたまってる。そういった堰がたまって、その辺を考慮しながら皆さんと意見交換しながら石川町の桜でもって全国にPRしていく、そういうことが大事だと思う。

○議員 というお話でもう一押し。

○ 今、下山田議員がおっしゃったように、桜を育てるということは桜の木が、私たち素人なんですけれども、他県から見たら結構くたびれて来てるんじゃないかなって、手入れ不足じゃないかなっていう気はするんですけれども、そういう植木屋さんとか、そういう方の指導の下で、ここもまた石川町のボランティアを立ち上げて、もっともっと桜を育てる会みたいな感じの会を育成していけば、桜の木が大きくなるんだろう。桜は1回抜き取ったらそこには植えられないんですよね、全部土を（「そうですよね」の声あり）替えなければそこにはもう駄目なんですよね。

○議員 そうですよ、桜の愛護団体というのも石川町何団体かあったんですよ。ところが一時期途絶えてしまってそれをまとめ切れなかったということも事実。本当に桜で売り出すのであれば、それぐらいの組織は必要だなと思います。

それに加えて、PRの話になるんですね。先ほど、商工会の人も石川町の桜PRしたらいいんじゃないかというお話が出ましたけれども、観光物産協会というのが石川町にありまして、そのところを法人化しようっていう話で、去年、おとしから進んでおります。地域おこし協力隊なんかも採用してできないかっていうことで、募集も去年から始まりました。そうすると、商工観光物産協会ですから、石川町のPRをする専門の組織ができると、そういうイメージで、私なんかも推進したいと思っているんですけれども、そんなことも今挑戦しておりますので、何とかこれが話として形になるように努力していきたいと思います。

○議員 石川町に桜を守る会っていう会があったんですよ。会長は曾根さん。夕刊いしかわの社長がやっていたんですが、石川町にある桜を守る会の団体が十二、三はあったのかな。だから、日本の桜を守る会から苗を頂いて、各地域で桜を植えたんです。そういったのをやってい

たんですが、曾根さんが亡くなってからしぼんできたような感じがします。そうやって大事に各地域守って石川町が桜というイメージを全国的に広めていくことが大事かなと。一本桜、相当石川町にありますからね。ただ、残念なのは高田桜が、すばらしい桜が大分涙こぼしている人もいますけれども。そういう状況で桜を保護するのも大事かなと。

○議員 組織がつくれるように、私も地域の桜の愛護団体に関わっていますので、そんな話も進めていければと思っています。

○議員 桜の問題では象徴的なことがあったんですよね。北町の自動車教習所の桜が、あその桜は、多分石川町で一番元気いい桜だったかもしれないですね。何で元気がいいかっていうと、舗装している部分がすぐ近くになくて、根っこがぐっと張れば桜も元気なんですよ。ところが、旧役場前の通りとかは舗装と木が近いですよね。だから、舗装側に根っこ行っている部分がもう弱っているんで、もう相当くたびれている状態になっているんです。だけど、ああいうものは弱ってくる、上の根っこが弱ってきて倒れそうになって、一度倒れたものをクリスタルパークに行っても根性桜とかって植えたら、今すごく立派に伸びてきていますけれども、そういう問題も舗装がなければ丈夫に根っこ張れるけれども、舗装も生活上にとっては大事だし、あその北町の教習所の場合には、水害の川を広げて水害をなくすという、そことの闘いだったわけですね、残す、残さないは。だから、そういう問題とも、残すのためにはどうしたらやっていけるのかっていうことも、本当に議論したり住民の声があったり、役場の中でも担当部署が違うところがしっかり議論するとかっていうのが必要だったのかなって、あの問題を見て、私もいろんな人から連絡もらって、何とかならないのかと言われましたけれども、結局は河川を改修して、災害から守らなきゃなんないっていうところに負けたような感じですよ。

そういう問題が常に石川町の桜はどこの面でも持っているんです。それをどうやったら乗り越えられるかっていうみんなの力が必要なところも、先ほどそういう団体の話がありましたけれども、そういうのもつくっていかないと、負けちゃうかなという感じがしているんですけれども。

○議員 そうですね。石川町の象徴が桜だって言うと、1週間の桜にそこまでお金つぎ込むのかって、先ほどの教習所の前は桜だったらあんな立派なもの、どうして切っちゃうんだって、そしたら河川のほうで命が優先だ、じゃあ移せってなったらこれ移したらどっだけお金かかんだって話が出たりとか、そこら辺で瀬谷議員おっしゃったように、いろんな先入観、葛藤があったというのは事実です。いいと思うもの、象徴と思うものがどんどんなくなってい

っちゃうっていうのは寂しいですね、これから先のことを考えたときにどっちを選ぶかっていうのは、本当に皆さん悩むことだと思います。

でも、やっぱり桜は石川町の象徴として残したいですよね。ボランティアの団体さんが、愛護団体も含めて、行政とか皆お任せでなくて、自分たちが動かなくちゃ前に進めないべなっていう気を、私は4年、5年、議員やってすごく思います。

じゃあ、ちょっと話題を変えましょうか。すみません、今度こちらから青年部、部長矢内さんに。

○ まず、桜祭りについてですけれども（「桜祭り」の声あり）桜をPRするという事で、議員の皆さんは2年前の夏祭りを御覧になったことありますか。

○議員 夏祭りですよ。

○ はい、商工会が石川町でやってる。

○議員 私は知りません。

○矢内 そこで、今までと違うイベントを青年部でやりまして、二、三百人は集客ができた。

それを桜祭りにもっていきってなっても、結局観光物産協会から予算が出るということなんですけれども、結局最終印に押すのは、あれ町長ですよ。

○議員 そうです、町長が会長ですから。

○ 取りあえず予算が少ない。大規模イベントをやりたい、PRが、町のPRだとチラシとかなんですけれども、今若い人は今新聞を見るかという見ないですし、夕刊見るかという見ないですし、じゃあフェイスブック、ツイッター、インスタで宣伝をするかという方法を取って、今集めたりしてまして。

○議員 紙ベースよりも今SNSだといいですね。

○ それで、桜祭りにそのイベントやりたいという考えは、企画は出しています。青年部としても。桜祭りをPRするのにいろんな自分たちのチラシを作って、それをSNSに上げてという形でやっています。ただ、集客するに当たっても、議員の皆さんにお伺いしたいのは、かつての町のにぎわいを取り戻す具体的な対策、令和元年、その前からやっていることなんですけれども、実際議員の皆さん、ここまで前からやっているわけで、どう感じてられるのかなど。実際、若い青年部からしたら、何もやってないよって感じます。若い人、どんどんどんどん離れて行って、今の現状でだと。

○議員 今のお話を聴いて、話を2つに分けたときに、まずは夏祭りにしても桜祭りにしても青年部のほうで。（「青年部っていうか商工会ですけれども」の声あり）商工会。

- 全てに対して町はもっと観光物産協会、町長なり議員さんたちが見ていただいて、もっと予算出せばもうちょっとみんな集まる、もうちょっと違うイベントができるんじゃないかっていう発想も出てくると思うんです。それがもう限られた予算で、今のでここに書いてあるハンドボールが石川町有名で、ハンドボールの後輩たちがボランティアで30人ぐらいだっけ、三、四十人がボランティアでただでやっている状態。（「ハンドボールの組織、大会」の声あり）違います、イベントを。（「イベント」の声あり）青年部のほかのハンドボールの後輩たちが集まってやってくれています。
- 議員 そういう意味ですか。
- 例えば、景品を配るにしても何にしても青年部に人が足りないので、予算もない中で1枚500円の金券を配るっていうだけでも、本当は300人、400人呼びたいんですけども、ないからできないという状態だったり、夏祭りのときは遠くは東京から来たり、それSNSのイベントっていうだけで来てくれたりするんです。
- 議員 まずは、商工会に対して、商工会、青年部が主になってやったお祭りも含めて、物産協会なりそういう町の組織とかあったりするのに、イベントに関しての補助なりなんなりそういうの。
- それはあると思うんですけども、ただ中身を見て予算額を決めてもらいたいんです。これだけ人が集まるんだなっていうのだったり。こんな人が集まらないんだったら補助出しても無駄じゃないかっていうのを、例年どおりの補助金、補助金、補助金なので、もっと見ていただいて変えていただければなとか。
- 議員 それは議員も含めて、そういう声を出していただきたいという話ですよ。
- はい。で、議員さんも見ていられるというのも分からない、私たちは。夏祭り、こんな子供たちが来ているというのも、分かっていたきたいです。
- 議員 それでは、これに対しては商工会関係で草野議員さん。
- 議員 今の要望、本当に私の息子も青年部に入って皆さんと一緒に活動していると思いますが、やはり後継者育成っていうのはこれからきちっとやっていかないとなかなか皆さん方も商店、建設、後は会社とか皆さん恐らく後継者いるんですけども、やはりそういうのを考えると町もあれこれやれ、補助金出すから、助成金助成するからっていうだけじゃなくて、皆さんの要望等聴いて我々議員もきちっと執行部に、要望きちんと伝えて結果を出していかないと、議員は今何やっているんだって言われて、議員も今言われているんだなと思って、今。
- 青年部としてははっきり言って言っています、何やってんのかなっていうのは、町長含め

て。

○議員 やっぱり、議会も総務産業建設と文教厚生とあるんですけども、そっちのほうでもやっぱり把握して、議会でもきちっと執行部にこういうことを青年部では言っていたという、今までは議会報告と町民の意見を聴く会の中での話で、いろいろな要望、皆さんから聴いたり意見を聴いて、執行部と話ししてこういう要望がありましたっていうことで、今までやっていたんですけども、こういう専門的な立場での意見というのは初めてなんですね。我々町民の意見を聴いていけば、今まではそれを要望聴いて、それを町政に反映して議会としてそういう形でやりましょうっていうことでやってきたけれども。今日、こういう形でやって、本当に切実な要望、一生懸命やっているのに、我々分かんなかったでは済まないなと思って、本当に反省しなくちゃなんないし、これからそういう意見をきちっと取り入れて、町に要望なり提言なりしてやっていかななくちゃなんないなと思いました。ありがとうございます。

○議員 そうですね、やはり今まで町民の意見を聴く会とか、いろいろしてきたんですけども、この年代の方が話す機会が、我々がつくってなかったんです。それにプラスして自分たちの事業を見てくれと、それに合わせて、だったら支援体制をつくってくれとか、そんなところまで、やっぱり町の活性化のために皆さん働いているんだから、事業やっているんだから、そこを見てほしいなっていうもっともな話だと思います。本当に草野議員おっしゃったように、貴重なお話を聞けましたので、我々も現場見せていただいて、それでそうだよなっていう動きができるよう努めてまいりたいと思います。よろしいですか。

○議員 関連で、観光物産協会の話が出ましたよね。私、何人かから言われているのは観光物産協会が財源がさっき言ったように、上に決まっていて使える金がなかなかないという話もあって。

○ 今、不明金もありますよね。それは今不明金もありますよね。私ら野本さんとも話しして、それも情報も入った上で今日話合いさせていただいて。

○議員 そうなんですけれども、基本的にやはり財源をしっかりしなきゃならないという、そうしてくれっていう声が多いんですね。具体的に言えば、入湯税2,000万円ぐらいを財源として、そして観光物産協会をもっと独立した自主性があるものにしていったらいいんじゃないかっていう。

○ それも八幡屋の社長としゃべって、入湯税の意味が分からない、入湯税はじゃあそういうイベントだったり何かに使えるものじゃないのかっていう話をして、それも不透明だ、今までは不透明だということだったので。

○議員 観光目的に使うんですけれども、入湯税そのものは幅広く関連するものであれば使ってもいいということになっているので、結構幅広く使っていたこともあるので。

○ 八幡屋の社長も同級生なので、見える化してイベントだったり何かに。

○議員 私も聞いている。

○ 見える化してほしいって。

○議員 それを何とかしなくちゃならないだろうって、その辺から観光物産協会が今度は町長から野本さんに替わって、民間の会長になったということで、それからどうしていくのかという、今度は財源の問題とか組織の問題とか、それを本当にみんなで議論して効果的なものに見えるようにしたらどうするのかっていう、そういうのをこれからもっと具体的にやっていかなきゃならないのかなって思っています。今、そういう意見もらったので、私あまりその発言も、あまり先走ってやってしまうとどうなのかなって思っていましたので、今日、その話聴いて、やっぱりそういう方向でいかななくちゃならないだろうなって思っています。

○議員 いいですよ。10人ちょっとで言いたいこと言ってるんだから。石川町の観光物産協会って何なんだっていう話をすごくして、数年前、二、三年前ですよ。観光物産協会の総会の資料見せてくれって言ったら、事務局が町の観光商工係がやっているんですよ。資料はどこにあるか分からない話。そんな形になっちゃったり、観光物産協会を法人化して独立して、きちっとした専属の方がいて石川町のPRとか石川町のPRって言ったら、さっき言ったように町内のいろんなイベントも、対外的な観光のPRも含めながらやってほしい、それで物産協会を法人化して、きちっとした専門の職員がいるような、そこまでの組織に育ててほしいということで、ずっとお願いしてきたんです。

で、町のほうが去年、おとしからその方向でいきましょうっていうことでようやく動き始めて、ですからそこら辺の組織もきちっとさせたいなと、そういうことで私なんかも動いているし、瀬谷議員も法人化したいということで。そうすると、その不透明なところもある程度きちっとできる、で、力を持った専属の方が仕事ができるような形になったら、石川町のためになるのではないかと思います。

そんな形で動いていることも事実ですので、先ほど含めた事業をきちっと見て、議員がね、それで支援体制ができるようなことと、今ちょうど中途半端な形で移行時期だと思いますので、仕上げるように努力していきたいと思います。よろしいですか。

○ 町なかはどうですか。

○議員 町なかの再生っていう言葉だけで（「再生に関しては」の声あり）何もやってないだろ

うっていう。

○ 何をされているのかなっていう。

○ 議員 それでは、議会1年間に4回定例会があるんですね。6月の定例会で町なか何とかしなくちゃいけないということで、今回4人の議員さんが質問しました。なお、その中身ってというのは来月の頭ぐらいに議会だよりっていうのに載るんですけども（「今日配付しています、今日できてきました」の声あり）

○ 令和元年の9月からやっていますよね。

○ 議員 ずっとやっています。

○ それでも、じゃあこれは答えが出てなかったということですか。

○ 議員 答え出ていないです。残念ながら。じゃあ、ここの話は下山田さん。町なか再生の話で。

○ 議員 町なか再生化の問題で、私、転勤族でいなかったもんですから、小学校時代からずっと石川町を見てみると大変様変わりが激しいんですね、石川。だから普通私昭和60年に三春へ転勤になったわけです。三春の商店街の人たちは石川町と三春はもう兄弟みたいなものだからって。まちづくり全体は商店街の人たちが を見に来ていったんですね。下山田さん、石川だから一緒に交ざってなんていうのを夜の懇親会なんか交ざったんですが、やっぱり三春も通過点なんですね、郡山への。船引、常葉から来た場合。そういう場合に、三春にいかにして立ち寄ってもらわかっていうことを商店街の人たちが議論して、それでそのいろいろの結果、大町が現在のような形になっているんですけども、そういった商店街の人たちが議論を重ねて、町へ要望してこういうまちづくりにしようということで、大分三春は変わった。

それと、会津の七日町は観光客があれだけ行かれて、立ち寄る観光客がいなくて、七日町の人たちはあの各商店の人たちがいかに若松に来たお客様に立ち寄ってもらわかって、そういったあれでもって大分各商店の人たちが、古民家を利用してお客を立ち寄ってもらおうということで、大分七日町は変わった。

山形市内、山形のライオンズクラブも積極的に市内の商店を活性化を図ろうということで、ライオンズクラブって のマップ作っていたんですね、各商店で。これ大丈夫なのって聞いたら、各商店、各自入会しているし各商店努力しながらお客様来てもらおうってことだと。マップ作ってお客様呼んでいるんです。それが大分お互いに競争し合ってまちづくりをやっていたという経緯。各観光地はほとんど観光客をいかに来てもらわかってということでしたもんだから、そういうことで考えると石川町は寂しいなと思って、大分平成17年で戻ってきたん

ですが、石川に、大分様変わりして寂しくなったなと思って、これからの町の運営は大変だろうなって見ていたんですが、一番感じるのが南町で自治会でやっている八槻市、これが今寂しくなっちゃって、もとは馬場町のほうまで商店が並んでいたんですが、今はそういう状況もあってやっぱり町づくりはこれから高齢化になってきて、やっぱり高齢の方々も人通りが少しでも多くなるように、南町とか荒町に核になるような、人が集まれるような、高齢者の方に聞いたら、モトガッコに行ったらとか、自治センターに行って、朝市行った、歩くのがまた大変、ただやっぱり大通りに集える場所があれば一番いいのかなって、そういったことを今後考えながら、高齢者が活用できるようなちょっとしたお茶飲み場でも軽食ができるような、そういったところがボランティアも含めてできればいいなと思って考えて、一般質問も含めて。

○議員 多分、矢内さんは今のお話では納得しないですね。議員だったら、議員がいろいろやっていて、何にも進んでないじゃないかっていうような趣旨に聞こえて。

○ 道の駅だって、結局遠く離れたところに造ったらどんどん過疎化するだけじゃないですか。町なかは。だったら、そのお金で何か違うものを、学法石川もあって、若者のいるところでもっと人が集まれるものが造れるんじゃないかなって思います。道の駅は本当に果たして必要なのかっていう、若者の意見は何のための道の駅かって言いますよ。

○議員 道の駅は今の話からちょっと置いておきましょう。次に、道の駅に関してはいっぱい御意見もあるでしょうから。その南町とかその商店街も含めて、何とかしようって言ってずっと何年も進んでないじゃないかって、そこの話ですよ、今の話は。

私なんかは町の駅の整備。これに書いたんですけれども、一番商店街を活性化しようっていったときに、町の駅の整備が再生事業を象徴する事業でないかって、私資料見たときに商工関係の方がその文書をきちっと載っていたんですよ。委員会で、町なか再生委員会ですか、その方の中で。これはどうなっているんだ、本当にやる気があるのかっていう質問を、今回したんですけれども、やっぱり早急に見直しをかけますっていう話しかもらえませんでした。

私なんかは逆に聞きたいんです。地域経済を何とかしようと思ったときに、拠点がなくて何も動かないと。石川自治センターと町の駅が一緒になって1階、2階になって、2階が会議室で1階がテナントでも入るような形になって、周りに広場ができれば、それこそ町なか中心で人が集まってもいいし、ここでコンテナショップでも何でもやってもいいような、そういう雰囲気をつくっていけるんでないかってずっと言い続けてきたことなんですけれども、これはどうしても私の思いになってしまうので、皆さん方だったら、あの南町通り、昔のようににぎやかにするためにはどんな方法あると思うか。そういうことも聴いてみたいんです。酒井さん。

○ 私、今思っているのが重謙邸屋敷の後ろに結構土地空いている部分あるんですね。そこに直売所とかレストラン、ちょうど棚倉町のみりよく満点っていうんですか、ああいう感じでそういう建物を造ったら他町村からもお客様に来ていただけるんじゃないかなと思うんですね。2か月ぐらい前に重謙邸屋敷でお琴の発表会がありまして、他町村から結構いらっしゃって、今後はコンサートとかそういうことも考えているとかっておっしゃっていたんですね。周りに駐車場も確保できるような感じですし、せっかくあんなに立派な重謙邸屋敷があるので、見学もしていただけるんじゃないかなと思っているんです。

○議員 そうですね。あそこのところが建物はあって周りに広場がきちっとできて、整備できればあとはあそこにちょっと話したときに、それこそあそこにコンテナショップでも何でもできたらいいなと、せっかく川までずっと見渡せるようになったので、できればあそこのところただの公園で広くするだけじゃなくて、そういう人が集まってものが食べたりなんなりするように。これは本当にいい考えだと思います。そうしたいなと思っている方のアイデアなんかもいただいて、話ししていければなと思います。

じゃあ、その町なかの南町通り含めて、活性化っていう点では、エンドウさんなんかは。

○ 須賀川とか浅川あたりで月に1回、ロジマって行って第2日曜日だかだと思うんですけれども（「須賀川ですね」の声あり）須賀川でハンドメイドを売っている、結構若い子なんかハンドメイドでアクセサリーとかいろいろ小物とか、結構そういう作っている方が多いんですが、そういう人たちが、友達の娘さんから聞いたんですが、出店する場所がないっていうことなんですね。だから、月1回とかでまちなかでそういうイベントなんかやっても面白いのかなと思うんですけれども。

○議員 そうですよ。

○ とにかく、若い人は全然石川町のお店なんかも知らなくて、新町のここですよとか言っても、ええ、そういうところなんですかとかって、全然お店の名前とかそういうのも知らないっていう、今若い人たちはそういう方が多いみたいです。

○議員 興味持って町のなか歩かないっていうことですよ、考えてみれば。そうですね、そういうこと重兼屋敷のところでも月に1回ハンドメイドのものができたりすれば、それも一つですよ。ここのモトガッコのそこでは、月に1回やろうとして始まったんですけれども、コロナで今自粛しているというのが現状なんですけれども、ここどうしても町の話聞いていると重兼屋敷のところとモトガッコだっていう、その話になってしまうんですよ。そうすると、町うちをにぎやかにしようとするときに、ここに広場があつたりするのはいいけれども、やっぱり

町うちにもレストランなり直売所なり、月に1回ぐらいハンドメイドのものを、須賀川のロジマのようにですね、できるような形になるのも一つ人が向こうに集まる仕組みづくりになりますよね。いかがですか。目が合ってしまったので。

○ それでも、大概あれですよ。ほかの地域見てちょっとまねするっていうことも大事なんですよけれども、今コロナなんで先が見えないところもあると思うので、ただそれに伴って多くなっているのが移動販売だと思って、移動販売の車をちょっとした敷地に呼んでそういうイベントでもいいのかなって思います。取りあえず人に来てもらうっていうのは大事かなと思って。移動販売の車を一気に集めてとか。基本的には人が集まるっていうことがないので、やっぱり定期的なイベントをやれば、自然とっていうところがあるのかなって思います。

○ 議員 継続は力って言いますがけれども、定期的にやっているっていうこれが定番になるとお客さんは集まってくれる、確率は高いですよ。

○ 毎年ハンドボールだけで500人、（「毎年で小中考えれば1,000人は超えます」の声あり）1,000人が石川町に来ていたんですよ。それに対して、（「ゴールデンウィークなら4,000」の声あり）予算ゼロです。でも、自分たちでスポンサー探して1万円でも2万円でもってやってそれだけの子が一気に来るのに、見る場所がない。

○ 議員 それは、大会の。

○ 大会を主催している。

○ 大会の イベントですね。

○ 議員 ああ。

○ 自分はスポーツでしかもの言えないところがあるので、そこらまだあとから言えればなって思っていました。でも、人を呼ぶことに関しては、本当に考えたりすればいっぱいありますね。

○ 来てもらっても、あとがないんですね。じゃあ、もう須賀川に泊まる、郡山に行く。

○ 毎年、ゴールデンウィークと秋の連休と3月の。3月なんかは芸能人呼んだりして、クリスタルパークでやったりしたんですけども、今コロナの影響とかワクチン接種の影響とかいろいろあってクリスタルパークが使えない状況でできないですけども、まずこのぐらいやっていたっていうことを、多分町の議員さんなり町長だったり、みんな分かってないんだろうなって。だから、俺らは誰にも期待できないんです。

○ 町に言っても、議員さんに言ってもどうせ、スポーツはスポーツだから、そっちはそっちでやっているからってしか言わない。

- どうせ聴いてもらえないんだろうな、じゃあ俺たちでやろうよって動いているのが自分なんです。ただ、はっきり言わせてもらおうと、結果は俺らのほうが出していると思います、そういう意味では。ただ、4,000人呼んで、その人ら泊まりに、泊まらせなきゃなんないってなったときに、石川町でその中の2割も満たないです、泊まれる人、みんな外に出ます。
- 確かに石川町だけで人数が来るって分かっていても、値段をいいですよって言ってくれるところはない。
- 結局八幡屋さんとか、井筒屋さんは結構旧館のほうでいろいろお世話になっているんですけども、例えば高い。でもその質は落とせないのは分かるんですけども、これって町がバックアップして、これだけ人が来ているんだから、じゃあ町でバックアップしようって言ったら、石川町にお金落とせるんです。
- それ石川の観光にもなるんです。
- 今、それだけの人数が来ると になっている人もいるので。
- そうですね。そういうところに目向けてほしいなっていうのが本当の。
- で、町なかで御飯を食べたいってなって、その町なかで御飯を食べるところがない、遊ぶところもない、見るところがない、どうするってなったときに、青年部でじゃあ屋台を出すかってなったんですけども、それに対して青年部全員を使うのは申し訳ないので、私ともう一人だけが焼きそば作ったりとか。
- 3日間で正直、弁当ショップに弁当代だけでゴールデンウィークなんかは3日間だけで弁当代が170万円です。
- 議員 それだけの大会を。
- そんだけの事業をやってるってことも。そこをやっぱ気づいてほしいなって。
- クリスタルパークを借りる際には、そういうのを伝えてあると思うので。クリスタルパークには。そうすると、町には自然と分かるかなと思うんだけども。
- 議員 ハンドボールの大会っていうのは、全然私は中身を知りません。
- 中学校の主催っていうのもあるので、そもそも。ただ。
- ずっとやっていますよね。
- 本来は、結局石川町に目を向けた中で、それだけの人が集まるイベントって数えるしかないんです。でも、それってやっぱり理解しておいてもらわないと、ただ、俺ら話に行っても、そんなのやってるんだってのはねられちゃうんで。
- 議員 そのイベントの補助金出していたんですけども、今は出していない。

- それは何に対して。民間に対しての。
- 民間に対して。
- 民間に対してはそれは各競技に出ていると思うんですけども。それとはまた別なので、今コロナでできないんですけども、東日本で大体50チームぐらい呼んでいるので。
- 議員 それって、分からないから聞くんですけども、石川町の体育協会とかそういうところはまるっきり無縁なんですか。
- 議員 秋はハンドボール協会が中心になって。
- 秋なんかは国体の記念大会みたいになっているところがあるので、秋なんかは別で予算持っているところあるんですけども、5月はただ単に単独の合宿だけで、男女合わせて60チームぐらいは来ちゃって、そうすると結構大変なお金が動いていたりとか、泊まれるところがないので、外に配宿しなきゃいけないんですけども。
- 議員 安く泊まれないんですね。
- ただ、やっぱりコンビニとか、自販機、弁当屋さん、そのところ、潤うはずですね、その人数で。そういうときに、タイアップして移動販売とかいろんなことできれば、一つのイベントとして何かできたりも、いろんな発想が多分それに伴って。
- いろいろ出してきたんだよね。正直町に言ってももうしようがないと思ったので。
- 議員 それ、何か仕組みができれば町全体で協力して。
- 実際、ハンドボールだけじゃなくてサッカーとかでもやっていますし、いろいろみんなやっているんですよ。その分野にたけた人っていっぱいいるし、その若い人らが、みんな石川町っていう町に興味があって、積極的ならいいんですけども、大概携わっている人たちって町とか行政に対して無頓着だし、興味がないじゃないですか。みんな……。
- どうせやってももらえないって言う頭。
- 正直、俺らやっぱり子供にそれだけ手かけて、年間としてやっているとそこまで考えてられないとか、手割いてられないっていうのもあるんですけども、教えている人たちってみんな。そんなこんななりふり構わず一生懸命みんなやっているんで、だから逆に言うと、そういうところを見つけて、今回のこういう会ってすごいな、これはいいきっかけだなと思ったんですけども、こういう会を考えられるのであれば、そういう人って探そうと思えばいっぱいいるんです。そういう人をやっぱり町から来てもらえませんかというていでやらないと、いい意見って吸い取れないだろうなって、どういうことやっているんだろうっていうのも、その人がどういう意図でやっているんだろうとか。

○ 議員さんにはちょっと若い人選挙行かないので、若い人に興味ないかもしれないけれども、若い意見に目を向けてもらわないと。本当、こんな感じでどうせ、いいやとか、言ってもしようがないっていう頭にみんななっちゃっているの。40代の私たちがそうですと、30代はもっとそうなっちゃいますし、20代なんて役場、議員さんも知らないってなっちゃいますし。

○議員 ハンドボールの仕組み、もうちょっと。

○ ハンドボールだけじゃなくて今年の夏祭りのイベントは、ハンドボールの石川の代表、サッカーの代表、野球の代表、全部集めてイベントやったんです。それ別々でいろんなイベントあるんで、ハンドボールだけじゃなく、全てにおいて見ていただいたほうが、サッカーだって強いでしょう。

○ 強いですね。

○ 県である程度強いし。

○ 今、ちょっとリトルがやっていないですけども、あの頃リトルもあったし。ちょっと試験的だったんで4団体に絞らせてもらって呼んだんですけども、行く行くは石川だっているんな子供教えているスポーツ、空手とかテニスとか、いろいろあるわけです。そういうのにやっぱ目を向けて、合同イベントで。子供たちが、例えば石川町にいる子供たちってこのときにこういうイベントあって行ったら、自分に向いているスポーツってこういういろいろあって、こういうのやってみたいな、やってみたいなって選べる場があれば、もっとスポーツに関心の持てる子供が増えるんです。そもそもそれに接していないから、本当に能力のある子供だったり、やりたい子供だっていっぱいいると思うんですけども、どうやったらやっていくか。結局、うちらもそんなに対外的に予算取って、うちのほとんどお金は取らないでやっているの、ボランティアでやっている、そこまで広告費等も割けないし、学校とかには言ったりはしているんですけども、でも実際、だからといって来れる子供って、親が相当積極的だったり、そういうのでないと来れないですよ。だから、こういう夏祭りにかけてそういう合同イベントとかやれば、興味あったんだけどもできなかったっていう子供のきっかけになればいいなって。石川町はそういうことやっているんだ、いろんなこういう団体いっぱいあるんだ、面白いねって言われれば、そういうのがなってくれば、大きい波になれば町としても大きいことできるんじゃないかな。

言え、本当にクリスタルパークなんかあんなすばらしい施設があるので、あんなに土地もあるの、ああいうところに合宿所造ってこういういろんなスポーツ、合同イベントということも、行く行くはそうなれたらいいなっていう気持ちではやっていますけれども。だから、そ

ういうのをもっとやってもらえれば。

○議員　そうですね。今、石川町、若者がどんどん減っちゃって人口減少が止まらないですね。いかに町を活性化するかっていうのは、交流人口を増やして町に幾らかでもお金が落ちるような、そういう方法を取っていかないとどんどん廃れちゃって、町。青年部の皆さんから話を聴いて、本当にすばらしいことをやっているんだなって感じました。我々も執行部も人口減少はなかなか止めることはできないけれども、その分交流人口を増やして町の活性化を図っていかうっていう考えで執行部はいるので、その辺は議会もそういう考えで皆さんのお話、考えるところで本当にすばらしいことやってんなって思って、これから議会としても少しでも応援できるなら応援していきたいなど、考えております。

○議員　本当に。知らなかったところを今回教えていただいたので、もうちょっと中身、別の機会でも教えてもらいに何うような形を取ります。ぜひ、続けてほしいです。

○　ほかのいろんな人の意見もやっぱり吸い取ってほしい。うちらだけじゃなくて、同じような。

○　そうだね、バスケットだったり、サッカーだったり。

○　もっとやっている人いっぱいいるので。何ならもうちょっと冒険してほしいなって。目つけてる、学法石川なんて今年e-スポーツ部なんかつくって、今年オリンピック、スケートボードできましたけれども、俺ら小さいときスケボーやなんてそんな危ねえのなんて、大体柄の悪いやつしかやってないから、不良のスポーツだって、言われたもんな。だから、俺らが大人になったとき、多分今のe-スポーツがオリンピック種目になると、全然あり得る話。そういう新しいものにどんどん目つけていかないと、やっぱりこういう町なので。例えば今もう目つけちゃって、石川町はでっかいe-スポーツの大会やってみようよって。都会の人なんか、田舎でそういうのやるって言ったら話題性にもなるし、それこそすごい勢いでe-スポーツ界多分一番SNSとか、そういう能力持っているんで、多分そこでばあんと石川町拡散されちゃったらすごい速さでいきます。ただ、そういう冒険ができるかなんです。何、ゲームの大会なんて、またそんなの要らない、子供にゲームどんどんやらせるようになってっちゃうでしょ。でも、世の中ってそうじゃなくて、駄目だ、駄目だって言われても、世の中って変わっていくので、あと10年、20年すれば当たり前のe-スポーツ、子供がゲームやるの当たり前。

○　今、10歳で年商1億とかね。すごいですよね。1億、2億が普通なので、e-スポーツの選手は。

○　今、一番速いですよ、e-スポーツなんか石川町に持ってきて大会やったら石川町の名前、

全国に物すごいスピードでいきますよ。

○議員 そうですね、我々も議員にとっても知らない世界の話であったりいろいろあるので、聞ける機会と、やっぱりただ聞いただけじゃなくて、もうちょっと仕組み聴いてやれることは何かあるんだろうって、そこまで支援できるかどうか、そこまで踏み込んでっていうようなことをこれからやっていきたいと思います。

○ すぐ支援してほしいわけじゃなくて、議員さんに見ていただきたいというのが多分。

○議員 まずそれが一番最初です。理解しなかったら支援はできませんから。

○ こういった人の流れがあるんだ、こういった人が来るんだというのを見ていただいて。

○議員 そうですね。

○議員 その辺の見る視点がやっぱり変わってないというのがやっぱり問題なんだよね。ソフトとか野球が全盛のイメージばかり持っていて、ほかのスポーツのところを見てない。この間、自転車の大会、初めて町なかをやったでしょう。あれもいいなって思っ

○ 自転車に関して、自転車の倍以上人が来るのに、自転車に乗る 問題ないという

。

○議員 そういう多分視点が、目が行ってないんだよね。私は随分前からハンドボールは外からよくやっているのは分かっていたけれども、大会がそんなに広まっているのは分かんなかったです。何回もやっているんですよ。

○ 駐車場がいっぱいになるぐらいなので。

○議員 本当に総合体育館有効活用する、本当にいいことやってるなど。

○議員 石川町の水害のとき、ボランティアの片づけに岩手の親子が息子さん連れて来てくれました。一緒に作業してたんだけど。

○ それはまさにそうですね。

○議員 石川町で自分の息子たちがお世話になったからって。そういうつながりにもやっぱりある。

○ それこそ、ハンドボールのイベントで毎年5月、何十チームが集まる合宿に3年間ずっと来ていて、その町が水害に遭ったということで兄弟で来てくれて、何日間か手伝いに来てくれて、そういう輪がありますから。

○議員 継続しているつつうことは力ですよ。その話、もうこれで置いときましょう。

○議員 思ったのは先ほど町なかのずっと、やっぱりやれるところで一步踏み出すっていうのが大事で、ヤマブドウの工芸の話も今探しているんですよ、町の中で工房を造りたいんだって

う。そこがなかなかどこに協力してもらえるんだらうかっていう話もあって、そういうところで一步踏み出すところに我々も力を貸してやらないと、形になっていかないのかなって思いましたね。

○議員 やっぱり前向きで頑張っている人たちは支援するってことですよね。どういう形になるかは分かんないけれども、きちんと中身を理解した、その姿勢でいければと思います。その分、やっぱり話を聞かなくちゃいけないですね。さっき言ったけど年配の方ばかり集まっているところで話ばかりしていたんでは、こちらが偏っちゃうってということもありますからね。それを心がけるっていうことで。

じゃあ、遠藤さん、何か、石川町の活性化とかさっき、道の駅の話で気になること、町全体のこととかで身近なことも含めて。

○ やっぱり人口減少と少子高齢化っていうのが一番で、後継者自体も年齢が上がってきて、後継者って経営者ね。それからいかに若い人を育てるかっていうか、若い人っていうのは全然発想も違うし、やり方も全然違うんですよ、それでも全然スマホとかできない人が商売やるのと、全国に情報を発散するのとでは全然やり方も違うと思うので、若い人の意見を聴くっていうのは一番大切だなと思います。

○議員 さっきね、矢内さんのお話出ましたね。紙媒体はもうほとんど見ないんだと、SNSで携帯使ったりしながら、それで情報を取っている時代になっているんだよっていうお話も、その一環ですよね。商工会でも事業継承っていうことで、いろんな手だてはしていると思うんですけども、我々議員にとったらどんなことができますかね。

○ やっぱり町に魅力がないと若い人が入ってこないし、人口がだんだん減るところの町には帰ってこないし、やりがい、仕事にやりがいがないと継いでくれない。今、お客さんもだんだん高齢化しているし、若い人はもう町内で買うっていう方は、学生服以外はほとんどないんじゃないかなと思うぐらい、町外っていうか市街地にみんな行っていると思うので、いかに町の中をそういう若い人が興味持てるような店づくりをするっていうか。そのためには経営っていうか、売る側も若い人で情報発信できる、昔のやり方では店続かないと思うので、店自体が変わらないことにはお客さんもついてきてくれないし、お店の人も勉強しないと駄目だなと思います。

○議員 じゃあ、同じ視点で溝井さん、お子さんなんかも関わっているいろいろスポーツ、ハンドボール関係とかやっていたり、人口減少っていうのも溝井さんだったらどう考えますか。

○ 遠藤さんの話の続きですけども、働き手がない。うちもそうなんですけれども、単純な

話、若い子は仕事の会社のブランドで選ぶっていうのもありますけれども、あとはやっぱり町のブランドなんですよね。就職先がある程度いい会社だったとして、石川町っていうだけではねられる。え、石川じゃ働きたくない、田舎じゃん。郡山とか行きたい。でも、本当にそうなんですよ。うちは正直、会社白河にもあるので、あっちでも出してみんな今石川の会社やってくる人って、結構そういう形態取る人いるんですけれども、郡山にも出して郡山のほうで求人出して、勤務地石川どうですかって引っ張れば、ようやく来るけれども、でもそのときに勤務地石川は駄目ですってねられるし、俺も同級生でそういうやり方やっている人もいますけれども、勤務地、みんな5町村含めてそうなんです。白河でもはねられます。

○議員 白河でも。

○ 建設業界、今年高卒、新卒、建設業界含めて、今年の新卒で入った新入社員が1桁です、白河で。石川に来ると思います。だから、それに対応するんだったら、石川町を市にしよう、無理な話じゃないですか、結局。人数多い町にしよう、やっぱブランド化するしかないんですよ。何かに特化して。石川町働けば何かのメリットがある。石川に行けばこういうのがあるって、やっぱ何かあれば来るんですよ。そのメリットが今のところ何もない。税金対策、税金とかそういうの含めて、例えば子育て支援に関しても何かブランド的な、象徴する何かがありますかって言われても、何か打ち出したとしてもほかに劣るじゃないですか。

だから、やっぱさっきも言ったんですけれども、どっかで冒険してずば抜けたことやないと、やっぱ引かれないです。なあなあでちょっとほかのやつまねして、二番煎じ、三番煎じやっても、絶対来ないです。だから、やっぱほかよりも早く何かやって、何かブランドにしないとこれから厳しいんじゃないかな。そういう意味でもどんどんどん情報集め、情報を吸い上げてその流れに乗っちゃえば、日本中見たって、じゃあこういう人口の少ない町、人口の少ない村が全て過疎化しているかって、そんなことはないですよ。うまくやっているとこはやっているし、うまく戦略立ててるし、ほかにできないことやったりやっていますよ。

石川町、確かに桜とかいろいろ今までのそれこそ、私は反対ですけれども、歴史民俗資料館とか、そういうのも大事なかもしれないですけれども、どっかでは。じゃなくて、過去のことばっかやってたって、今新しい人って別に過去に魅力があって来る人っていない。これから自分の生きていく上で、なんかこの町に魅力がない。それはやっぱ視点はもっと下げないと駄目です。

さっき言ったように、例えばe-スポーツとかほかがやってないようなやつも、ずば抜けた施設をぼんぼん造るとか、すごい金かかりますけれども、そのぐらい、石川町って多分もうば

- くち打たなきや駄目な状態になっているので、このまま行ったら衰退して終わりなんです。
- 議員 溝井さんの話を聴いていて、我々どうして石川町で人がどんどん減っちゃうのかな、石川町で働いてくれる人がいないのかなって言うと、大半の方は石川町は仕事がないからだって言うんですね。でも、溝井さんの話を聴いていたら、石川町に魅力がないから勤務地としても魅力がないんだというそのお話で。じゃあ、石川町に仕事がないのかっていうと仕事が決してないわけじゃないんですね。
- そうそう、あるんです。
- 議員 あるんですね。自分のやりたい仕事がないとか。今、溝井さんの話で、石川町、住んでも魅力がないしな。仕事してもどうせ同じ仕事するんだったら、都会のほうがいいなって。
- 今の若い人って別に仕事をするために、仕事が楽しくて仕事をするんじゃないくて、趣味をやりたいがために仕事をするっていうほうが、圧倒的に多いですから、だからそっちの付加を考えていけば、要するにどんな仕事だってやるんですよ。（「ふうん」の声あり）そのために稼げるのであれば。それに対して魅力のある町であれば。その仕事に……。
- 石川駅のエルナの跡地に町で買い取って、歴史民俗資料館なんて造らないでそこになんかeパーク。
- 賞金賭けた大会、月1でやるとかコンテナハウスを並べたり。でも、本当に笑い事になるようなことでやっていかないと無理だと思います。
- 議員 でも、今皆さん経営者であったり、人を雇ったりとか、そこで苦労したりしていてその話も一環もあるんでしょうけれども、こういう話聴いていて、佐藤さんはいかがですか。
- 石川町だけじゃなくて、やはり他県から若者が商売を何年かやったら石川町が何かをバックアップしますよ、家賃を何年間ただにしますよとか、子連れで来たら何かをしますよっていう町からの補助があって、他県から若者を呼ぶ方法は取れないものでしょうか。今、皆さんがやっぱり後継者いないんですよ。商売やりたくても後継者がいないからみんなシャッターを閉める。だから、シャッター通りが多い。だったらそこを町で補助していただいて、他県から若者を呼んできて5年なり10年補助をしてもらって、若者を呼び込む方法を取れないのかなと。
- 議員 後継者がいなくてここで石川町で商売やってみようっていうそのきっかけになるものを。
- 私はずっと言っていたんです。屋台村を造ってくれって、町に。1年、2年間賃料ただ。それで人口増やす。2年間そこでやり続けたら賃料そこから取れ。出ていく人は出ていく。切り替えが早ければどんどんやりたいたいっていう人が出てくるので。

- それは ないですよ。
- 私は……。
- 議員 その辺は、役場にだけではなくて商工会と一緒に仕上げていく仕事なのかなとも思っ
て。
- ただ、結局それが町まで話が行かないので、町の例えば職員さんに私言ったりしたんですけ
れども、こういう考えがあると。職員さんも、私に言われても。結局皆さん上の顔うかがって
ばかりなので、思い切った発言してくれる人なかなかいなかったの、今まで。
- 地域性ですよ。
- まずは、こういう場をいっぱい開くことだと思います。これ、今日これ言ったからどう変わ
るってなんてことは絶対あり得ない。
- 議員 今、話を聴いて単純に、町の駅だなんて言ってないで、同じところに屋台村造ったって
いいわけだね。
- ああ、いいね。
- そして、 のところ ずっと丸く造ると丸くきれいに見えますし、店舗だっ
たり居酒屋だったり何でもいいと思うんです。そこから私は自転車でもレンタルさせて町なかも
行けるような体制を取って、バスターミナルを造ってやればまた違うんでないかなと。
- 議員 やっぱり、役所でやろうとしている拠点づくり、拠点の意味合いが違うんだね、話を聴
いていると。
- ここからこっちでやって、ここから駅のほうからここまで人の流れが絶えないようにすれ
ば、町なかの人口も増えるんじゃないかと。町なかを歩く人の人口も。
- 議員 その町なかで御商売になっている酒井さん。今の話聴いてどうですか。先ほどのレスト
ランでも何でも、重兼屋敷の跡もって、ああいう話と通じるところもあるんじゃないかと思っ
たりもしたんですけれども。
- そうですね、なんかお話を聴いているとわくわくするっていうか、活気が出るような気がし
ますね。結構、今BSとかで見ていると若い家族が移住するとか、そういう番組も結構多いで
すよね。だから、何かそういう若い人がすごく興味を持てるような企画とか、そういうことを
すれば違ってくるんじゃないかなと思うんですよね。
- 議員 先ほど出た、いろんないいヒントをもらったと思います。単純に町の駅って言うけれど
も、町の駅だってなんだって人を集まって、皆さんがそののところに集まって楽しめる仕組み
をつくれれば、人の交流が増える、町なかも活性化されるっていう言葉では活性化、人がいっぱ

い集まればいいんだっていう話ですからね、それに伴って経済も動けば、これでいいわけなので。町の駅、町の駅ってそこに大体凝り固まっちゃっていたような気がしますね、私なんかも。

○ 道の駅じゃなくて、町の駅を発展させていく。

○ 議員 じゃあそれで、先ほどもお話ししていた道の駅の話は気になってますか、皆さん。そうでもない。そうでもない。

それじゃ、今、今までの話以外のところで石川町で気になるなっていうところ、ご案内をいただきたいんですけども、山田さん。

○ 道の駅でいいですよ。気になっているのは気になってますね、道の駅は。なんか本当にやるのかどうかまだ分からないですけども、俺らなんかは。ただ結構、学校の校長先生もそうだし、偉くなった人たちっていうのは何か箱物を造って、その箱物を造ったのが自分の実績とか功績を捉えて、それで辞めてってとかってなったとしても、じゃあ自分のことが、自分らもそうですけれども、自分の子供たちに関しては残されたものなんで、それに関してはもう財政が厳しいって見え見えなので、その中でその道の駅を今の段階で造ったとしても、それがなんか、そういうのが見え隠れするところがあるかなっていうのは、率直に思います。見え隠れっていうのは、何か功績を残したくて何かやるのかなとか。なんかそういうのが見え隠れしてるのは、みんな結構分かっているんじゃないかなと思います、自分ら世代の人間は。あってもなくても一緒じゃないかなというところはあるので、何かそういうものが腑に落ちないですね。道の駅造ったほうがいいよねってはないです。

○ 議員 その考えも確かにありますね。それじゃ、例えば道の駅を造ったがためにいいところもある、悪いところもある、何か事業をやるとしたらいい面と悪い面と背中合わせですよ、何考えても。

じゃあ、今度は何がいいかな、遠藤さん。道の駅を造ってメリットも確かにあると思うんです。農業であったり、商業であったり、観光であったり、防災の拠点になったり、あとは将来の雇用が生まれたり、そういう面に関して道の駅っていったときにはどうですか。何で造るかってなったときには、そういう地域の施策として効果が大きいんじゃないかというのが一番の基になって、道の駅の話になったんですけども、そういう点を鑑みながら、先ほどヤマダさんから言ったようなことも、箱物行政よくないんじゃないかっていう話も、財政苦しくなるんじゃないかって、この話もありますよね。その話を聞いたときにどう思われるか。

○ 石川町、特に観光地もないし、特産品もないし、農家つつても本当に地道に小規模でやって

いるところが多いし、箱物を造ってそこに入れるものっていう魅力あるものを、そういうあれは集められるのかなというのと。

○議員 商品としていろんなものを道の駅で販売、皆さんが消費者が求めるようなものをそろえられるかが疑問だつて。

○ 中途半端にやっても何かほかとは違う何かがないと魅力がないと、人が集まってこないし、ただ野菜を売ればいいのか、そういう安心館みたいな。

○議員 農産物は種類は考えていないですから。

○ 何かだから、キャンプ場を造るとか集まるプラスアルファ。民俗資料館も決まっちゃったみたいなんですけど、そういうのだから本当は道の駅と同じ敷地の中にあっただけのほうが誰でも見られる。

○議員 相乗効果ですよ。

○ みんな、石川って中途半端であっちこちにぽつんぽつんってあるから、見たいっていても、それに興味がなければそこに行かないって感じになりますかね。

○議員 興味を持たれるようなものができないと、ほんと宝の持ち腐れになってしまうんじゃないかっていう話ですよ。あと、道の駅に関しては。

○ 道の駅は建てるだけですよ、民間業者に渡すんですよ。

○議員 その話はどうなったか。

○議員 そういう方向で 。（「 」の声あり） 。

○ 赤字の補填は石川町ですか。

○議員 赤字にならないように。まだそこまでは決まっていない。

○ そういう話も聞こえてくるような感じなのに、だったら造る意味。

○ 全国の道の駅ってほぼ赤字なんですよ。黒字になっているところってないですよ。

○議員 95%赤字ですね。

○ 赤字ですよ。

○ それが赤字にならないようにっていうこと。

○議員 まず、さっき言ったようにうまくいっている5%もある、それは何なのかという。

○ 石川町がそれは 。（「 」の声あり）

○議員 さっき言いました、うまくいっている仕組みっていうのをそこを学ばなきゃなんないです。それをやれるかどうかっていうことですよ。やっぱりね。

○ 本当にあれですよ。5%になれる、さっき言ったように大ばくち打ってもらうしか。無理だ

と思います。本当。賞金賭けたらなんか本当にそういう、今e-スポーツの大会とか、あれって人呼ばなくても、いい、スポンサーが半端じゃない。じゃあ、ああいう、例がこれしかないんですけれども、何でもいいんですよ。

○議員 何かやっぱ目玉になるやつを。

○ 人がやってない何かを。

○議員 売り物だけじゃなくて、そういうイベントのできるような広場を造って。

○ 今、道の駅造るに当たって、コンサルお願いしていると思うんですけども、そういう人らも全国道の駅を関わった人をお願いしているようですと、こういう発想は出ないので、当たり前のものでしかないと思いますので。

○ 二番煎じばかりやって絶対無理だろうなって。

○ 町民集めて町民でどうするって聞いたほうがいいと思います。造るんであれば。

○議員 単純に考えて、町直営でやるのと、外の人の業者さんが入ってするってどっちがいいと思います。いい、悪い絶対あります。

○ そもそも、私の考えは道の駅ないので、どちらがいいっていうのはないんです。そのためのお金ももったいなくて。道の駅、民俗資料館、決まっちゃったので、何で決まっちゃったのかもちょっと疑問で。南山形小学校だってあるのに、そこらもできるんじゃないかっていう思いもありますし。

○ 道の駅の敷地内にサッカーコートとハンドボールコートを造ってくれるなら認めます。そっちのほうが絶対人入りますよ。

○ スポーツ、スポーツに興味ない人は興味ないけどスポーツで人呼ぶの早いですよね。

○ 玉川のグラウンドっていうか、球場みたいな。

○ 絶対スポーツ乗せちゃえば人集まる。

○ 歴史民俗資料館になるところはもともと客室も、お風呂とかいろいろあるんであれば、自分は合宿所を造ってもらいたいと思います。合宿所自体も結構市とか町とかいろいろすると結構赤字らしいんですけども、ただ石川でいうと学石とか強い部活がいっぱいあるので、その強い部活のシーズンになってくると毎週合宿できますよってなれば。

○ バスも入れるし。

○ みんな学石と試合やりたいですよ。

○ 結局泊まる場所も限られているので、町管轄でやってもらえれば1泊4,000円とか3,500円とかという感じで。

- 厨房もありますし、大広間もあるし。
- そのほうが現実的。
- すぐ近くに道の駅があれば、その人買いに行くんじゃないですか。合宿で来ている人、大会で来ている人。そういうつかまへのほうが楽です。大人って自分では足重いですけれども、子供のものになれば絶対行きますから。
- 議員 ということで、そろそろ時間になってきましたので、最後に一つ、これ気になっているから話題にしたいってどなたか。今までの話がかなり、いかがですか。
- 総合体育館を早く使えるようにしてほしい。せっかく石川から学石からインターハイ、ハンドボール出ても練習できないので、そういうのも含めて考えてほしいです。しょうがないですけども。
- 議員 9月いっぱい。（「終わってます今」の声あり）そうなんです。そこまでの約束。
- ただ、そこまで単独でやって9月過ぎたらクリスタルパークでするっていうやり方あったんじゃないかなと思います、俺は。若い人の人数増えたときにクリスタルパーク、その前はほかの施設に二、三か所使って。それまでどうセンターハイっていうのがあって国体あって、子供はやる気だから。
- 議員 そっちの話に引っ張られているので、女性のほうから何か一つ気になる話題を出していただいてそろそろおしまいになりたいなと思います。
- 何かある。
- 思いは伝えましたので。
- 議員 一つ一つ皆さんのお話が聞けたので。
- 最後いいですか。
- コロナ対策として助成だったりなんなりしていただいていると思うんですけども、町から。石川町の工業、商業っていうのは飲食だけじゃないっていうのを理解していただきたいなと思って、飲食しか正直、助成がないので。
- 議員 それはもう本当に理解してます。国の制度が、県の制度があって石川町独自の制度があって、石川町自体のお金も限られてきますので、一番苦しいところにお金、補助をっていうのが石川町独自の政策になっています。
- 苦しいときにいろいろ決めたじゃないですか。お金のいろいろの使い道を。コロナで苦しい事業主があるときに議会の予算で違うお金の使い方をおっしゃったじゃないですか、決まっちゃったじゃないですか。その前に1回見ていただいて、県国じゃない町独自の助成補助だった

りを考えていただけなかったのかなって、それは思います。

○議員 町独自のもやったんですけれどもね。

○ 1万円ですよ。1人1回1万円。

○議員 1人それだけではないんですけれども。

○ それ、飲食とかもやっていただくのは分かるんですけれども、ほかの面も見ていただきたいなってというのが。

○議員 それは重々。またこれからも続きますので、今のお話きちんと、心に留めながら。現状を見てくれっていう話はもう議会の中で、その話は執行部ともしていますよね。その広がることも考えていきたいと思います。

じゃあ、そろそろ時間にもなりましたので。

本当に今日はありがとうございました。最初に話していましたように、今まで議会が懇親会を開いたり、お話を聴くってなかなか年代の方々とお話ができなくて、また女性部の方々のお話を聴く機会が本当に少なかったなっていうのがありましたので、これからいろんな年代で、いろんな業種の方々の話を聴く機会を持っていきたいと思います。

今日は本当にありがとうございました。